

# なんケア通信

第20回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：平成31年4月5日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：79名(介護事業所関係者 30名、地域包括支援センター 1名、福祉用具事業所2名、御野場病院職員 26名、一般参加20名)



## 演 題



## 『 高齢者の排尿トラブル 』

秋田赤十字病院 泌尿器科 部長 下田直威 先生



平成31年4月5日(金)に「第20回なんケアの会」を開催致しました。

今回は公開講演会で、テーマは「高齢者の排尿トラブル」について、秋田赤十字病院泌尿器科部長の下田直威先生からご講演頂きました。地域の皆様も多数参加していただき、このテーマへの関心の深さが伺えました。

講演では、「排尿トラブル」に起因する、前立腺肥大症、尿閉の対応、薬剤との関連、前立腺癌、尿道留置カテーテル、などについて具体的に解説していただきました。

私たちは、誰でも加齢に伴い様々な変化が現れます。高齢者の問題点として、加齢による変化、複数の慢性疾患、多剤服用の影響、フレイル、認知機能障害、意欲の低下などがあり、これらすべてが排尿障害に関わるということでした。また、我が国では60歳以上の男女78%が何らかの下部尿路症状を有しており、前立腺肥大症においては9割の男性になるもの、とのことで、非常に多くの方が排尿トラブルを抱えているということがわかりました。

排尿機能の低下は、高齢者の生活に支障を来たしてしまいます。夜間頻尿、尿失禁などは本人のみならず介護者の活動をも制限し、精神的な負担となることもあります。介護者、医療提供者が正しい知識を持ち、地域包括ケアシステムの中で多職種がしっかりと連携し、ケアの統一、ケアの継続を行っていくことが重要だと感じました。

講演の後の質疑応答では、病院の排尿ケアチームと、訪問看護ステーションから、尿道留置カテーテルに関する質問がありました。下田先生の豊富なご経験をもとに具体的に説明していただき、とても学び多い講演会となりました。

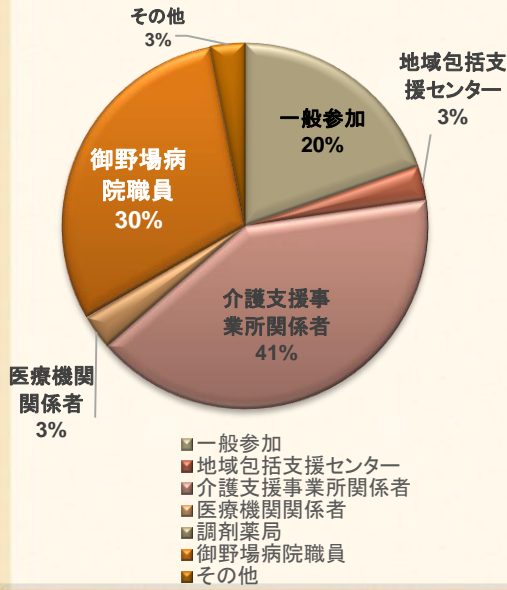
次回のなんケアの会は6月上旬に、医療・介護・福祉の職種を対象に行います。次回も地域包括ケアシステムの実現に向けた講習会を企画しましたので、多数のご参加をお待ちしております。



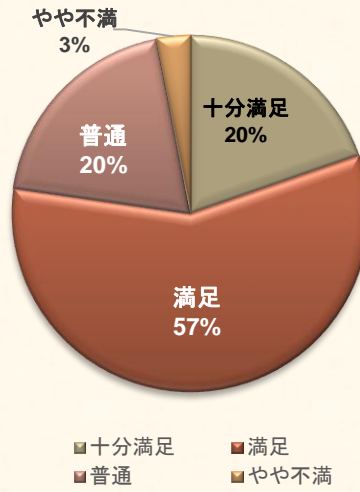


アンケートの  
集計結果

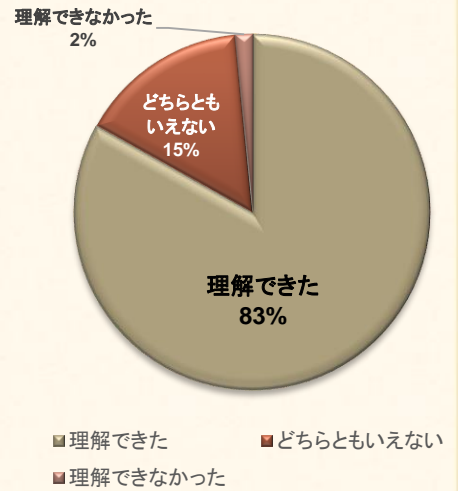
所属



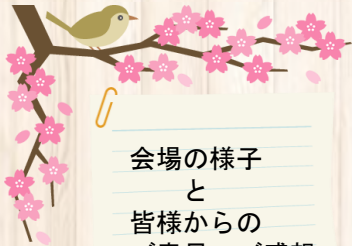
講演会に参加して  
いかがでしたか？



講演会の内容を十分に  
理解できましたか？



回収率：85.7% (アンケート配布：77名、回収：66名)



会場の様子  
と  
皆様から  
ご意見・ご感想



泌尿器科は行きづらい所です。  
ひどくならない内に行けるよう  
になるといいと思います。

一般参加

普段聞けない内容もあり、とても  
有意義でした。

介護支援事業所関係者

大変勉強になりました。  
ありがとうございました。

福祉用具貸与事業所

次回開催の  
お知らせ

開催日時：平成31年6月11日（火） 18:00～19:15  
会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

